

てはめし候まじく候。

〔正月ヨリ十二月迄御小袖ノ召様ノ事〕正月より十二月までの御小袖のめし候御やうだい、正月一日朝小袖そめ物、晝の御いはひおり物、二日朝小袖何にてもひるおり物、三日朝小袖何にてもひるはくえ、七日朝小袖何にてもひるぬひ物、十五日朝小袖何にても晝おり物。

〔宗五大草紙_下〕殿中さま_くの事

一公方様御ひた、れの色かうむらさきくちは以下不定候、但正月はまろきをめされ候、高倉殿より調進候。

〔澤巽阿彌覺書〕正月の御ふく、十二月晦日にまゐる、目錄かなにあそばし候也、御ふくのもくろく

一御かう一 一御おり物三 一御おりすぢ七 一御そめ小袖三 一御はた三 一御こをんぞ一 一御かたぎぬ御はかま二ぐ 一御ゆかた一 一御おび二すぢ 一御あかぶくろ

一御はだのおび 以上 女中衆へまゐらせられ候也、近年はとうなう衆にもたせられ候て參候也、御もくろくは御自筆なり、近年は大略右筆正秀調進引合一枚にたてに書て、上を杉原一枚にて横に卷申候也。

御方御所さま くわうげん院殿様御事 御ふくのもくろく 一御おり物三 一御ぬひ物二

一御はく二 一御そめ小袖三 一御はた二 一御ちやうけん一 一御ゆかた一 一御あかぶくろ一 以上 いづれも御女中衆へわたし申され候、まへくは横川掃部助もたせ候て

御局まで參る、すみかはごとて、竹にてあじろくみたる物に入也、二をりに入候也。

一天文九十二三十 御ふくのもくろく 一御かう一 一御おり物一 一御おりすぢ七、一御そめ小袖一 一御はた三 一御こほんぞ一 一御ゆかた一 一御かたぎぬ御はかま一ぐ

一御おび二すぢ 一御はだのおび 一御あかぶくろ 以上 私に云、御あかぶくろと申は、